

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS × KANDA

### ゴール4 「質の高い教育をみんなに」

4 質の高い教育を  
みんなに



これからの世界を担う子どもたちが平等に質の高い教育を受けることは、将来的なSDGsの達成のためにも必要不可欠であり、教育はすべての課題解決の基本となるものと言っても過言ではありません。

しかし、途上国では学校が近くにない、学校はあっても先生がいない、学校に通うお金がないなどの理由で十分な教育を受けることができない6～14歳の子どもが1

億2000万人以上いると言われています。特に差別や習慣、貧しさのために女性が教育を受ける機会は男性に比べて少なく、世界で読み書きができない人のうち約3分の2は女性です。

日本では義務教育制度が整備されていることもあり、17あるSDGsのゴールの中でこのゴールは達成しているという評価がされていますが、全く課題がないわけではありません。子どもの学力や教育レベルの低下、不登校生徒の増加は先進国において問題視すべき課題です。

#### 苅田町の取り組みは？

#### 時代背景に沿った教育環境の整備

苅田町ではグローバル化に対応した教育環境づくりの推進として、小中学生の英語力の向上を図るため、外国語指導助手（ALT）を各小中学校に配置する事業などを行っています。小学校1年からのALTによる外国語教育は、グローバル化が加速する現代において将来的に活躍できる人材の育成のみならず、外国の文化や習慣など異文化交流に対する理解を深めることにも貢献します。また、ALTのネイティブな英語を聞いたり、実際に会話をしたりすることは、英語をより身近に感じさせ、「英語を話せるようになりたい」というモチベーションを高めることにも繋がります。（QRコードから苅田町HPのALT紹介ページをご覧ください）

子ども達の個別最適な学びを保障するGIGAスクール構想の実現等、今後も社会情勢に応じた適切な教育環境の整備に取り組み、「質の高い教育」を提供し続けます。



#### わたしたちにできることは？

教育問題について考え、その取り組みの小さな一歩として、次のようなことから始めてみませんか？

- 教育課題に関心を持ち、本やインターネットなどを活用して、世界の現状を知り、「何ができるか」を考える。
- 学習支援など教育関連のボランティアに参加する。
- 教育支援活動をしている団体に対し、募金をしたり、文具や教材などの寄付をしたりする。

#### みなさんのSDGs活動紹介

福岡県地球温暖化防止活動推進員  
松岡麻利子さん



#### 次世代のために環境教育を実施

福岡県からの委嘱で11年前から福岡県地球温暖化防止活動推進員として活動している松岡麻利子さん。松岡さんはこれまで、保育園や小学校などで計60回の環境教育（エコ出前授業）を行ってきました。実際に授業を受けた与原小学校の5年生は、地球温暖化などそれぞれが関心を持ったテーマについて新聞を作成。「今伝えなければ…」という松岡さんの思いは、着実に次の世代へ引き継がれていくことでしょう。

「地球環境の改善のためには、まず現状を知って、一人ひとりが生き方や生活を振り返り、自分にできる範囲で行動に移すことが大切です」と語る松岡さん。今後も次世代に素晴らしい環境を残すため、諦めることなくできることを続けていきます。